

宮城県林業普及活動情報

2026. 7 月号 No. 218

もくじ

各地の林業普及活動情報	P2~8
○「みんなの森林づくりプロジェクト推進事業活動団体」への支援	(大河原地方振興事務所)
○大河原産業高校実習に向けた取組	(大河原地方振興事務所)
○みんなの森林づくり推進プロジェクト事業の活動団体支援	(仙台地方振興事務所)
○仙台第三高等学校で森林教育を実施	(仙台地方振興事務所)
○木育イベントの開催	(仙台地方振興事務所)
○大崎森林組合推進員会議における相続登記推進と再造林支援	(北部地方振興事務所)
○こけし材の供給を目的としたミズキ資源量調査と取引支援	(北部地方振興事務所)
○苔生産団体の活動支援	(北部地方振興事務所栗原地域事務所)
○林業教室・実地研修の実施	(北部地方振興事務所栗原地域事務所)
○「地域のちいさな販売会」における販売支援	(東部地方振興事務所)
○原木きのこ生産者へのヒアリング及び事業説明	(東部地方振興事務所)
○木工体験支援	(東部地方振興事務所)
○令和8年度石巻圏域森林経営管理制度推進会議	(東部地方振興事務所)
○「古川工業高等学校林業就業体験」の支援	(東部地方振興事務所登米地域事務所)
○みやぎ森林・林業未来創造カレッジ 林業教室選択講座Ⅱ(林業機械:基礎)	(林業技術総合センター)

「みんなの森林づくりプロジェクト推進事業活動団体」への支援

大河原地方振興事務所

【3日（金）・13日（月）・14日（火）】

今年度、当管内では全県の約半数の10団体による活動が予定されており、このうちの3団体に対して、現地確認及び、活動が円滑に実施されるよう具体的な作業手順や書類作成等の助言を行いました。

いずれの団体も、地域の森林・竹林を良くしたいという前向きな方であり、事業の把握と無理のない範囲での安全な作業について理解をいただき、活動を進めていただいています。

今後も、順次各団体の現地及び作業内容等の確認を行いながら、安全で適切な事業実施に向け、取組を支援していきます。



【現地指導の様子】

大河原産業高校実習に向けた取組

大河原地方振興事務所

【23日（木）】

7月に実施予定の大河原産業高等学校環境科学科3年生を対象とした実習について、講師を依頼する林業事業体の方と、実習内容の打ち合わせと現地確認を行いました。

実習では、同社が進めている早生樹植栽地や針広混交林の見学及び森林整備について説明をいただくこととし、当日の動きや事前の環境整備の必要性について打ち合わせするとともに、道路状況や題材とする早生樹の生育状況を確認しました。

このほか、同日に行う木質バイオマスボイラーの見学について、機器を保有する七ヶ宿町から受け入れを了承いただきました。充実した実習になるよう、引き続き準備を進めていきます。



【早生樹の生育状況確認】

みんなの森林づくり推進プロジェクト 事業の活動団体支援

仙台地方振興事務所

【2日（木）、9日（木）】

名取市及び山元町で令和8年度みんなの森林づくりプロジェクト推進事業を活用して森林整備活動を行っている団体に対して、本事業の概要説明及び現地指導を行いました。また、今年度の活動スケジュールを確認し、円滑な事業実施に向けた進捗状況報告をする旨指導しました。

昨年度改正された事業内容を改めて説明するとともに活動する上での留意点を説明し、理解が得られました。また、事業区域及びモニタリング調査箇所の確認をするとともに、作業の際は熱中症等に注意して安全に活動する旨指導しました。引き続き事業の進捗管理について確認し、実施終了後は書類作成を支援していきます。



【現地確認の様子】

仙台第三高等学校で森林教育を実施

仙台地方振興事務所

【17日（金）】

仙台第三高等学校の森林教育の一環として、植物同定の講義を実施しました。

標本は、林業技術総合センターから前日に採取された17種を用いて、一般図鑑と検索図鑑の違い、対生・互生・束生・輪生の違い、複葉と単葉の見分け方、専門用語の説明等を行った後、実際の標本を用いた同定作業を生徒と一緒に実施しました。

希望した20名の生徒が参加し、熱心に同定に取り組む姿が見られました。スギ、ヒノキの造林、木材利用についても森林・林業へ関心を持ってもらえるよう講義しました。

学校の教諭からは沢山の標本を用いた講義に感謝の意をいただきました。

秋に実施される学校林の探究活動についても支援していきます。



【植物同定の講義の様子】

木育イベントの開催

仙台地方振興事務所

【26日（日）】

木の良さや木材を利用する意義等を広くPRし県産材の利用推進を図ることを目的に、イオンモール新利府北館において、水産林業政策室、林業振興課、一般社団法人南三陸YES工房様と共同で木育イベントを実施しました。

「南三陸のFSC材を用いたバッジペイント」「森林と海のジオラマ展示・クイズ」「ズレンガ遊び」のコーナーを設け、来場者に木の役割や利用について説明しました。

ジオラマコーナーでは、森林模型に子供たちの興味が注がれ、担当の説明に聞き入っている様子でした。

ズレンガコーナーは、幼児に人気があり、親御さんと一緒になって遊んでいる様子は、木育の原点であると感じました。



【イベントの様子】

大崎森林組合推進員会議における相続登記推進と再造林支援

北部地方振興事務所

【9日（木）】

大崎森林組合から推進委員会における林業関連情報の提供を依頼されたため、相続登記の義務化と再造林の推進について説明しました。

相続登記の未実施については、長年登記されていない森林の整備に時間を要することを伝え、相続登記の重要性について理解が得られました。再造林の推進については、補助事業を活用できることを説明し、森林所有者への情報伝達を依頼しました。



【推進会議の様子】

こけし材の供給を目的としたミズキ資源量調査と取引支援

北部地方振興事務所

【16日（木）】

鳴子の伝統工芸品であるこけしの材料となるミズキの安定供給を図るため、ミズキがまとまって生育している林分の情報をこけし工人へ提供し、森林所有者との取引支援を行いました。森林所有者にはこけし材としてのミズキ材規格や伐採・搬出における注意点等を指導しました。

ミズキ材の規格は直径10cm程度が良く、太材はあまり好ましくありませんが、m3当たり単価で売買するため最適な規格の材が出てきにくいとのことで、資源量を把握しながら確実な取引へ向けて検討することができました。



【ミズキの資源量把握】

苔生産団体の活動支援

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【5日（日）】

これまで取り組んでいる苔の産地化や「くりはらの苔」生産振興として、栗駒文字地区の生産団体の活動を支援しました。今回は2種（ウマスギゴケ、ヤマゴケ）計60箱程度の播種作業が行われました。

今後は晩秋まで、毎日の水やりや育成管理の手入れが行われます。成長した苔は、イベントでの利用や販売が見込まれます。



【種播作業の様子】

林業教室・実地研修の実施

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【13日（月）】

林業の基礎を学ぶ「林業教室」の一環で、今年度の管内受講者（1名）を対象に、実地研修（テーマ「間伐事業の演習」）を実施しました。

まず、座学として、間伐の意義や事業の進め方を解説するとともに、区域面積の測量や林分測樹を行いました。その後、測量成果の作図と面積算定を行い、林分蓄積や密度管理図から間伐量を算出したほか、材を市場出荷した場合の収支計算の演習を行いました。

限られた内容でしたが、受講者の担当業務を進める上で、「参考になった」との感想をいただきました。



【受講生の研修状況】

「地域のちいさな販売会」における販売支援

東部地方振興事務所

【15日（水）】

石巻合同庁舎1階で開催している、「地域のちいさな販売会」において、菌床しいたけ（生・乾燥）の販売支援を行いました。

当日は来訪者に対し生しいたけ及び乾しいたけの調理方法の説明などを行い、生しいたけは完売となるなど、管内で生産されたきのこをPRすることができました。

今後も同販売会やその他の販売会の機会を捉え、管内の特産林産物の販路拡大に取り組んでいきます。



【販売支援の状況】

原木きのこ生産者へのヒアリング及び事業説明

東部地方振興事務所

【14日（火）、16日（木）】

管内の原木きのこの生産者を訪問し、生産状況や個々の課題・今後の展望等についてヒアリングを行うとともに、今後の原木購入補助事業について説明を行いました。

ヒアリングにより、それぞれの生産者が抱える課題等を認識できたほか、原木購入補助事業についても、概ね理解を得ることができました。

今後は、随時必要とされる支援や情報提供を行っていきます。



【事業説明・ヒアリング状況】

木工体験支援

東部地方振興事務所

【28日（火）】

森林組合が小学生・中学生を対象に実施する木工体験において、「森林の働き」について説明をするとともに、三段ラック・背もたれ付き椅子の製作支援をしました。製作に入る前に森林の働きを説明したことで、児童・生徒に対して、木材への親しみや木の文化への理解をより一層深めることができました。



【説明の様子】

令和8年度石巻圏域森林経営管理制度推進会議

東部地方振興事務所

【28日（火）】

管内市町の森林経営管理制度を推進するため、標記会議を開催しました。

管内市町の取組状況の報告、宮城県市町村森林経営管理サポートセンター及び高知県の町で実施している森林整備等の現状について情報提供を受け、意見交換を行いました。

当管内の各市町は、問題なく制度を推進していました。

高知県の町からは、経営管理制度の集積計画を使わずに、森林整備を行っている事例の情報提供を受け、参考になりました。

当会議は来年度も同時期に実施予定で、引き続き市町の制度推進を支援します。



【会議の様子】

「古川工業高等学校林業就業体験」の支援

東部地方振興事務所登米地域事務所

【16日（木）】

津山町林業研究会（事務局：津山町森林組合）が古川工業高等学校建築科生徒を対象に実施している林業就業体験（インターンシップ）の取組を支援しました。

今回の活動は、建築科1年生を対象として開催され、登米市担当者及び当所普及指導員から「登米地域の森林・林業と持続可能な森林経営（FSC森林認証）」の取組について説明し、林業体験ではチェーンソーを使用した造材やドローン操作の体験を実施しました。

生徒達は、普段扱うことのない機械操作を体験し、森林・林業の取組やスマート林業について理解を深めていました。



【ドローン操作を行う高校生】

みやぎ森林・林業未来創造カレッジ 林業教室 選択講座Ⅱ（林業機械：基礎）」

林業技術総合センター

【30日（木）】

令和8年7月30日に、林業教室の選択講座Ⅱ（林業機械：基礎）を開催しました。

午前は林業技術総合センター職員より、ドローンの資格取得と操作方法、チルホルの使い方、刈払い機の使い方、高性能林業機械（フォワーダ）について講義と実習を行いました。

ドローンについては飛行区分や必要資格について体系的に知る貴重な機会となりました。また、その他の林業機械については得た知識を仕事に活かしたいとのアンケート回答をいただきました。



【ドローン実習状況（センター内）】